

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

特定非営利活動法人BRIDGE

1 事業の成果

当NPO協力施設における医療及び検査支援プロジェクト

ブラジル現地の当NPO協力施設であるINOVE(Institute Nova Esperanca)に総額200万円の協力金を支援した。この協力金は、ブラジル南マットグロッソ州ギアロペス市を中心とする医療支援活動に当てられ、内科診察864件、臨床心理セッション220件、超音波検査44件、心電図検査112件を実施した。

医療支援活動は現在も継続しており、当NPOのホームページで随時報告している。

AIR Pneumoプロジェクト支援

昨年度に引き続き、AIR Pneumoの更新試験をオンラインで開催し、1名の日本人が受験した。

2023年1月、インドネシアにおいて、アジアじん肺レントゲン写真読影医養成講座が開催され、インドネシアの医師達に日本の読影技術支援を行った。この講習会には31名が参加した。

ウクライナ事業

高知ウクライナ友の会と協力し、高知県内で避難民を受け入れる活動を行った。

当NPOは高知ウクライナ友の会の事務局を引き受け、主に電話対応や会計、イベントの場で協力支援を行った。

2022年はウクライナとロシアの戦争が始まり、国際的にも日本国内でも非常に関心が高い出来事であった。高知県内の多くの方々、高知工科大学商品開発部の学生支援活動から多額の寄付金をいただき、その寄付金によって避難民の受け入れや、それに伴う生活支援金の提供、イベント等ができた。

避難民受け入れの状況としては、のべ3名を受け入れ、その内2名はすでにウクライナへ帰国した。受け入れた避難民は、当NPOが身元保証人となるとともに、日本財団、また高知県の行政や企業から支援を受け、県内で生活している。

トルコ大震災支援活動

2月6日にトルコ南部とシリア北部で大地震が発生し、3月末までに5万人を超える死傷者が出ている。

これを受けて、当NPOは、2月23日に、被災者を支援するための緊急医療・人道支援 街頭募金支援活動を高知市の中央公園北口で実施した。結果、街頭募金と振込みによる支援金を合わせて297,142円が集まった。この支援金は、岡山市にある認定NPO法人AMDAのトルコ支援活動に充当する形で支援した。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
地域保健医療に関する調査研究及び各種保健事業	当NPO協力施設における医療及び検査支援プロジェクト	通年	マットグロッドスル州ギアロペス市	3人	ブラジル南マットグロッド州ギアロペス市を中心とする地域住民のべ1240名
地域保健医療に関わる人材育成事業	AIR Pneumoプロジェクト支援	通年	日本、南米、アジア諸国	3人	アジア・南米諸国の粉じん職場労働者
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	ウクライナ避難民への支援活動	通年	高知県	3人	ウクライナから高知県への避難民3名
	ウクライナへ支援物資を送った	12月	事務所	1人	ウクライナ国民
	トルコ大震災支援のための街頭募金活動	2月23日	高知県高知市中央公園北口	20人	トルコ大震災被災者
目的に対する日本国内外での支援者募集のための啓発活動	ウクライナでの医療支援活動に関する講演会を開催した	9月11日	高知市内	3人	講演会参加者33名
	コラボチャリティTシャツ作成と販売(実施はコラボ企業のJAMMIN)	6月	オンラインサイト上	3人	購入101件

(2)その他の事業

なし。